

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月7日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月7日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【メール誤送信による個人情報の漏えいについて】 協力企業作業員が複数の協力企業へメールを送付したところ、送付先協力企業1社から対象外である旨の連絡を受けた。 送信メールには、当社担当者および協力企業作業員の電話番号等の個人情報が記載されており、当該協力企業へメールを送信したことで個人情報が漏えいしたと判断。 調査したところ、メールアドレス一覧画面を開くと、当該協力企業が初期設定で選択されていることが判明。 協力企業作業員はそれに気づかず「BCC(※)」ボタンを押下したため、当該協力企業が送信先のひとつとなってしまった。 また、メール送信前に当社社員と協力企業作業員により送信先のアドレスを目視確認したが、当該協力企業のアドレスに気づかず送信したため、当該協力企業にメールが誤送信されてしまった。 当該協力企業へはメールの削除を依頼し、削除完了の報告を受けている。 今後、再発防止対策を検討。</p> <p>※BCC:他のメール受信者にアドレスが見えないように連絡する場合に利用</p>	GⅢ	7月2日
2	<p>【雑固体廃棄物焼却設備 エリア放射線モニタ チャンネル1の動作不良について】 協力企業作業員が雑固体廃棄物焼却設備制御室にて、エリア放射線モニタ チャンネル1の「下限/動作不良」警報を確認。 警報発生時、当該エリア放射線モニタ付近で作業は実施しておらず、現場機器の指示は正常であることから、信号伝送システムの異常と推定。 現場での指示確認が可能なため機能喪失には該当しない。 今後調査を実施する。</p>	GⅢ	7月5日